

ジオツアーモデルコース

Oga Peninsula – Ogata Geopark



Tohoku Akita 男鹿半島・大湊ジオパーク

Oga Peninsula – Ogata Geopark

半島と干拓が育む 人と大地の物語

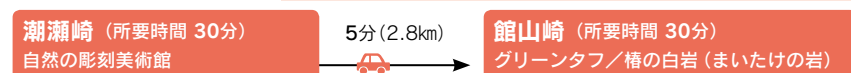
A 日本が大陸の一部だったころ① ー男鹿で最も古い岩石と火山内部を見てみようー

入道崎～西海岸コース 2時間5分
入道崎まで：男鹿市ジオパーク学習センターから55分・大湊村干拓博物館から60分
加茂青砂まで：男鹿市ジオパーク学習センターから70分・大湊村干拓博物館から75分



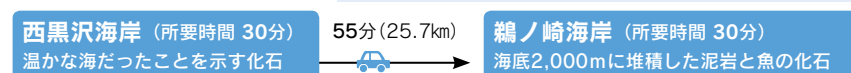
B 日本が大陸の一部だったころ② ー自然が作り出した彫刻“ゴジラ岩”に会いに行こうー

潮瀬崎～館山崎コース 1時間5分
潮瀬崎まで：男鹿市ジオパーク学習センターから60分・大湊村干拓博物館から70分
館山崎まで：男鹿市ジオパーク学習センターから55分・大湊村干拓博物館から65分



C 日本海が形成されたころ (浅海から深海へ) ーいろいろな化石を探してみようー

西黒沢～鵜ノ崎海岸コース 1時間55分
西黒沢海岸まで：男鹿市ジオパーク学習センターから50分・大湊村干拓博物館から55分
鵜ノ崎海岸まで：男鹿市ジオパーク学習センターから45分・大湊村干拓博物館から55分



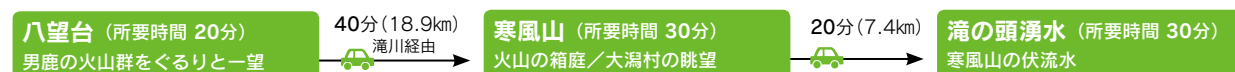
D 男鹿島ができるまで (深海⇒浅海⇒陸へ) ー氷河時代の自然環境の移り変わりを感じようー

安田海岸コース 1時間20分
安田海岸まで：男鹿市ジオパーク学習センターから20分・大湊村干拓博物館から25分



E 地球の覗き窓と火山の箱庭 ー三種類の火山と様々な火山地形を楽しもうー

八望台～寒風山周辺コース 2時間20分
八望台まで：男鹿市ジオパーク学習センターから45分・大湊村干拓博物館から55分
滝の頭湧水まで：男鹿市ジオパーク学習センターから20分・大湊村干拓博物館から25分



F 湖底から誕生した新生の大地 ー「大地と人の関わり」を実感しに行こうー

大湊村コース 2時間
干拓博物館まで：男鹿市ジオパーク学習センターから20分



上記はモデルコースプランです。所要時間も最短時間で計算しています。

■ジオパーク関連施設一覧

施設名	TEL	料金・一般(団体)	利用時間	休館日
男鹿市ジオパーク学習センター	0185-46-4110	無料	9時～16時	月曜日・火曜日 年末年始(12/29～1/3)
大湊村干拓博物館	0185-22-4113	一般・大学生 300円(250円)	9時～16時30分	第2・第4火曜日(4月～9月) 毎週火曜日(10月～3月) 年末年始(12/31～1/3)
男鹿総合観光案内所	0185-35-5300	無料	9時～18時	年中無休
男鹿駅前観光案内所	0185-24-4700	無料	8時30分～17時15分	1/1～1/3
男鹿ふっと観光案内所	0185-46-3012	無料	9時～18時	年中無休
なまはげ館	0185-22-5050	一般・大学生 540円(486円)	8時30分～17時	年中無休
男鹿水族館 GAO	0185-32-2221	一般・大学生・高校生 1,100円(1,000円)	9時～17時(3月～10月) 9時～16時(11月～2月)	冬期メンテナンス休館日あり

無料アプリ
ジオパークぶらり

日本ジオパークネットワーク公認の無料アプリ「ジオパークぶらり」に男鹿半島・大湊ジオパークが追加されました。

現在地情報や各ジオサイトの詳しい情報を知ることが出来ますのでぜひご利用下さい。

Download on the App Store
GET IT ON Google play

iOS版のダウンロードはこちら
Android版のダウンロードはこちら

ジオパークガイドのご案内

「男鹿半島・大湊ジオパークガイドの会」では、滞在時間や目的に合わせてプランを作成し、認定ガイドがご案内します(有料)。

詳しくは男鹿半島・大湊ジオパーク推進協議会か、公式ホームページからお問い合わせください(ご予約は案内日の7日前まで)。



男鹿半島・大湊ジオパークエリア



構成市町村：秋田県男鹿市・大湊村
面積：444.92km²
内訳：男鹿市・大湊村の行政区域+
男鹿国定公園の普通地域(海域部分)

男鹿半島・大湊ジオパーク公式ホームページ
<http://www.oga-ogata-geo.jp/>



発行：男鹿半島・大湊ジオパーク Oga Peninsula-Ogata Geopark

男鹿半島・大湊ジオパーク 検索

男鹿半島・大湊ジオパーク推進協議会 (男鹿市観光文化スポーツ部 文化スポーツ課 文化ジオパーク推進班)
〒010-0595 男鹿市船川港船川字泉台66-1 TEL: 0185-24-9104 / E-mail: geopark@city.oga.akita.jp 第11版(R3.8)

①入道崎ジオサイト

(鬼の俵ころがし・鹿落とし)

入道崎やその周辺には、9,000～7,000万年前(恐竜がいたころ、当時日本は大陸の一部)にできた男鹿半島最古の岩石が分布しています。鹿落としの岩石は7,000万年前の火山噴出物が固まった溶結凝灰岩で、非常に硬く、波に洗われて丸くなったものが男鹿の名物「石焼料理」の石に使われます。



丸くなった溶結凝灰岩

鹿落とし

②男鹿目潟火山群ジオサイト

(八望台・一ノ目潟・二ノ目潟・三ノ目潟・戸賀湾)

八望台から望む三つの目潟は、上昇してきたマグマと地表近くの地下水が接触し、大爆発を起こしてできたほ地です。戸賀湾もほぼ同じです。目潟は、地下数十kmにある岩石をそのままの状態で地表に噴出していたり、湖底に一年ごとにできた地層が数万年分積みもっていたりする貴重な湖です。



年縞



カンラン岩

戸賀湾、二ノ目潟

③潮瀬崎ジオサイト

潮瀬崎の人気者「ゴジラ岩」の岩石は、3,000万年前の火山活動によるものです。風雨や日光、潮の力を受けながら、長い時間をかけて今の形になりました。ゴジラの尻尾岩やカメ岩、人面岩などもあり、潮瀬崎一帯は自然の彫刻美術館のようです。地下の割れ目をマグマが昇ってきた様子も間近で見ることができます。



潮瀬崎全景

ゴジラ岩

④館山崎ジオサイト

(グリーンタフ・椿の白岩)

館山崎の崖には、2,000万年前の火山活動による多量の火山灰や火山礫が積み重なってきた地層が現れています。一部は火山による熱水で変質し緑色になりました(グリーンタフ)。館山崎入口にある白い岩は、風化して表面がスプーンでえぐられた様に見えます。江戸時代の紀行家、菅江真澄は「まいたけの岩」と呼びました。

グリーンタフ



椿の白岩(まいたけの岩)

ジオの旅マップ

男鹿半島・大潟 — 大地が伝える6つのものがたり —

- A 入道崎～西海岸コース** 男鹿で最も古い岩石と火山内部を見てみよう
- B 潮瀬崎～館山崎コース** 自然が作り出した彫刻“ゴジラ岩”に会いに行こう
- C 西黒沢～鵜ノ崎海岸コース** いろいろな化石を探してみよう
- D 安田海岸コース** 氷河時代の自然環境の移り変わりを感じよう
- E 八望台～寒風山周辺コース** 三種類の火山と様々な火山地形を楽しもう
- F 大潟村コース** 「大地と人の関わり」を実感しに行こう



男鹿半島・大潟ジオパーク



⑤西黒沢海岸ジオサイト

(グリーンタフ・椿の白岩)

どちらも海底でできた地層です。西黒沢海岸ではホタテガイの仲間・カキ・ウニなど海の生き物の化石のほか、松かさなど植物の化石も見つけられます。当時(1,500万年前)は陸に近く浅い海だったのでしょう。一方、鵜ノ崎海岸の泥岩からは魚の骨やうろこの化石が見つかります。こちらは(1,000万年前)深さ2,000m級の海底でした。



ホタテの印象化石



魚の骨の化石

⑥安田海岸ジオサイト

安田海岸の地層は西に行くほど大きく傾いています。地層の堆積中に西側が隆起したからです。貝化石と植物化石(亜炭)の地層が交互に現れ、氷河時代の海水面の変動を知ることができます。遠く九州や北海道、中国・北朝鮮国境の火山から飛んできた火山灰なども見どころです。



貝化石密集層

安田海岸の大露頭

⑦寒風山ジオサイト

(噴火口・板場の台・滝の頭湧水)

寒風山は2万年余りに活動を始めた火山です。噴火による様々な火山地形を、自動車道から徒歩数分で観察できる、まさに「火山の箱庭」です。周辺には男鹿石(石材)の採掘・加工場や水量豊富な湧水群もあり、人間生活と関わりの深いジオサイトです。山頂からは大潟村が一望できます。



滝の頭湧水



寒風山

⑩男鹿市ジオパーク学習センター

地層、岩石から大地が育んできた歴史や文化まで、男鹿半島・大潟ジオパークの全容を知ることができます。ジオツアーの第1歩目はこちらにお立ち寄りください。また、学校教育では理科や総合学習の授業支援として、多様な体験学習や解説員による無料の現地ガイドも行っています。



ジオパーク学習センター

小学校理科教育における体験学習

⑨大潟村干拓博物館

臨場感のある映像や、原寸大のジオラマ、地層の標本などを通して、大潟村・八郎潟の歴史・農業・自然などを学ぶことができます。ガイド「大潟村案内ボランティアの会」が、干拓博物館を拠点に活動しています。大潟村の歴史を築いてきた人たちの、実体験を交えたガイドツアーをお楽しみください。



干拓博物館

ガイド説明の様子

⑧八郎潟干拓ジオサイト

(大潟富士・干拓記念水位塔)

大潟富士は、平成7年に盛土をして誕生した築山です。高さが富士山の標高の千分の一、3.776mに設計され、山頂はちょうど海拔0mになります。山頂に登ると大潟村がかつては湖底にあったことを実感できます。隣に並ぶ干拓記念水位塔も、球体の真ん中がかつての湖水面を示しています。



大潟富士

干拓記念水位塔